

公益財団法人 メイト公德体財団便り



理事長ご挨拶

平素からメイト公德体財団の運営にご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

スポーツ指導者の皆様方におかれましては、2020年は新型コロナウイルスの流行により思うような活動ができず、大変頭を悩まされた1年であったかと思えます。2021年も依然として先行きは不透明であり、オリンピックも無事に開催できるかどうかまだ分からないような状況ではありますが、一刻も早く、子供たちが安心してスポーツ活動に取り組める社会が戻ってくることを願ってやみません。

さて、このコロナ禍において様々なイベントが中止もしくは延期となり、皆さんの中にも残念な思いをしていらっしゃる方がおられるかと思えますが、中でも、人生の多感な時期に多くの学校行事が中止となりつつある子供たちのことを考えると、胸が痛みます。

入学式に始まる各種式典、授業参観、遠足、修学旅行、発表会など、学校行事というもの、友人たちと同じ体験を共有し、また協力して成し遂げることで調和の精神を学ぶことができ、青少年の健全育成に不可欠なものであると思います。それはスポーツに関しても同様であり、競技能力を高めることのみが重視されるプロスポーツの世界とは違い、青少年のスポーツ活動においては、他者との絆を育むことも重要な目標の一つとなります。

学校行事や部活動などはコロナ対策のために無観客にしたり複数回に分散したりと形を変えながらも、何とか実施できるよう、先生方が尽力してくださっているようです。

スポーツ少年団の活動においても、消毒、マスク着用はもちろんのこと、検温とその記録の保管、密にならないように団員の荷物を離して置くなど、様々な工夫のもとに実施されていると伺っております。(各助成団体様に伺ったコロナ対策を本財団便りに掲載しておりますので、是非ご覧になってください)

ですから、学校行事の開催やスポーツ少年団の活動に対して、保護者の皆様は当然誰よりも不安を感じていらっしゃると思いますが、先生方や指導者の方と連携し、子供たちにとって出来るだけ安全かつ負担の少ない方法でこれらの行事・活動に臨めるよう、ご理解、ご協力いただければと思います。

我々も微力ながら、少しでも皆様の活動にお力添えできるよう今まで以上に努めてまいり所存です。厳しい局面ではありますが、未来を担う子供たちのためにも、我々大人が一致団結して、この厳しい局面を乗り越えましょう。



理事長
赤岩 達重

公益財団法人 メイト公德体財団 2021年度助成金募集要綱

◆応募資格

- ①岡山県内に所在するスポーツ少年団であること。
- ②スポーツ少年団に所属するチームであって、その活動が活発であると財団が認めるもの。
※2年連続の助成はしておりません。再度応募される団体は、1年以上空けてご応募ください。
※助成団体の上限を15団体までとし、多数のご応募があった場合は過去に助成実績のない団体様を優先させていただきます。

◆助成対象

- ①スポーツの練習、試合を通じて発生する費用を対象とします。
- ②活動の為に必要な消耗品費、設備費、賃借料、光熱費などですが、飲食費、交際費は対象になりません。
- ③助成対象期間は募集年度と同じ2021年4月1日から2022年3月31日までとします。
- ④助成団体様には学び館サエスタ(和気郡和気町佐伯)にて開催されます講演会(入場無料)へのご参加をお願いしております。詳しくは財団ホームページをご覧ください。

◆助成金額

1団体につき12万円を上限とします。

◆応募方法

所定の応募用紙『活動助成申請書』にご記入の上提出して下さい。
応募用紙は財団HP(<http://www.mate.or.jp/>)に用意しております。
または、**メイト公德体財団事務局(Tel : 0869-88-0243 担当:後谷(うしろだに)・兼田)**までご連絡くだされば、送付させていただきます。

◆応募期間

2021年2月1日から2021年4月30日まで

◆提出先

公益財団法人 メイト公德体財団事務局 担当:後谷・兼田
[住所: 〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3 (株式会社メイト内)]

2020年度助成団体の活動ご紹介 (15団体)

バレーボール 御野スポーツ少年団バレーボール部

スローガン ふだん着バレー

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 県大会2回優勝、中国大会出場、コロナ禍において6年生が個人練習を頑張り続けてくれたこと。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 仲間を思うことにより、強く優しく成長していること。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること こまめな手洗いがい、荷物は話して置く、体育館と用具の消毒、練習中以外のマスク着用。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 目標を決め、シンプルな課題を与えて1つずつクリアさせていくこと。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか ミーティング時に伝えています。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後も継続して活動して下さるようお願いいたします。



バレーボール 峰南ジュニアバレーボールクラブ

スローガン 常に感謝の気持ちを忘れず、何事にも負けない強い心を育て、仲間を大切にしよう！

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 子供たちがこのような状況でもしっかりと成長していること。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 各自の心が強くなった1年だったと思う。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 手洗い、消毒、マスク、換気の徹底と蜜を避けること。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 保護者の声掛けに気を配り、できた時にはみんなで褒めること。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか チームの理念と重なる内容なので、既に教えて、理解してくれている。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること スポーツを通して子供、保護者、チームに携わる全ての人が笑顔になれるよう、これからもお力添えをお願いします。



バレーボール 加美スポーツ少年団

スローガン あきらめない、あきらめない、あきらめない必ず出来る

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 メンバーが増え、試合に多く参加できるようになった。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 少しずつ試合で勝てるようになり、喜びと悔しさを感じる中で、お互いのことを思いやり、声を掛けるようになってきた。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 体育館期の換気や消毒、水分補給やハイタッチの自粛など。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 間違いはしっかりと指導し、きちんとできた時は必要以上に褒めること。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 一人の人として、今も大人になっても大切な事なので、この気持ちを持って楽しくスポーツをすることが大切だと指導している。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 特にありません。



バレーボール とよのバレーボールスポーツ少年団

スローガン 全員バレー (保護者も含め) みんなが主役

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 男女比半々の混合チームとして活動しているが、体力、性別の差を感じさせず、全員バレーを目標に頑張っていること。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 指導者に言われる前に、自主的かつ周囲の状況を考えて行動できるようになった。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 手洗いと、不要な密集を避けること。体調不良時には無理せずゆっくり休ませること。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 目標をずらさないこと。個々の性格ややる気を出すポイントを見逃さないこと。無理強いほしないが、途中でやめさせたり自分で限界を決めさせたりしない。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 本団の目標と重なることが多いので、今にもまして応援して下さっている団体のあることを感謝して人間づくりをしてゆくよう伝えたい。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること これからも、子供たちの明るい未来の為、応援支援をよろしくお願いします。



サッカー 吉井スポーツ少年団

スローガン 気軽に参加でき、楽しかったと思えるチームそしてスポーツで良い思い出を作ろう

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 昨年同様の参加者を確保できたこと。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 練習を通して助け合いができるようになった。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 参加時の検温報告、密にならない様な個人練習を中心に行っている。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 失敗を恐れる事なくチャレンジすることをすすめている。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか グループラインや全体集合時に伝えている。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後も支援活動を継続して頂ければ、地域の活性化にも繋がると思います。



サッカー 旭スポーツ少年団サッカー部

スローガン サッカーを通して、個々が成長し、相手を思う気持ちを育成する

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 指導者と部員の絆が深くなってきたこと。部員が声を出し合ようになってきたこと。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 学年に関係なく、目標に向かい、取り組んでいる。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 距離感を保つ、ハイタッチや円陣を組まない、コートの外ではマスクを着用する。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 1日の目標及び1年の目標を明確にする。保護者の応援。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 理念と5つの誓いを言葉にして伝えた。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 特になし。



サッカー 柵原スポーツ少年団

スローガン 挑戦と継続

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 2020年はコロナで試合等が無いと諦めていたが、8月に公式戦に出場し、その後練習試合等に声掛けして貰えるようになったこと。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 逆境でも諦めず継続するところ。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 都度の体調確認。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 練習は都度変化し、楽しめるものに。試合は、結果より試合自体を楽しめる雰囲気づくり。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 保護者に回覧にて伝えている。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 購入時にお金が必要なため、見積もりをベースにご支給いただき、その後領収書を提出する形だと負担が少なく助かります。



ソフトボール、剣道、サッカー 誠道スポーツ少年団

スローガン 一人はみんなのため、みんなは一人のため

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 一つの目標に向かって子供、指導者、保護者が団結し、子供たちが笑顔と悔しさを表現できるようになった。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 教わったことを意識し、自分の目標に向かって頑張ることができるようになった。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 活動のガイドラインを作成し、子供、指導者、保護者に徹底している。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 子どもたちが自分で考え行動するための取り組みと向上心の刺激。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 総会、ミーティングなどで伝えている。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後もスポーツ少年団活動に対してご支援いただければと思います。



※裏面にもご紹介しています

ソフトボール 伊島スポーツ少年団ソフトボール部

スローガン 「元氣なあいさつ」「感謝の気持ち」「思いやり」の気持ちを持って、ソフトボールを楽しむこと

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 おとなしく引っ込み思案な子が、立派なエースに成長したこと。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 自主的に挨拶できるようになったこと。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 手洗い、マスク着用、検温と結果の保管、応援自粛とベンチ内のソーシャルディスタンス。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 積極的に褒め、自ら考えさせるようにしている。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 指導者会議で情報共有し、練習前に選手に伝えた。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること より一層の周知と継続、更なる発展を期待しています。



ソフトボール 上市コスモスポーツ少年団

スローガン 友情、礼儀、規律、挑戦

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 新見市チャンピオンカップで優勝できたこと。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 一生懸命すること、仲間の大切さを感じたこと。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 練習自粛中にも、マンダラチャートを活用して自分に何が必要か考えさせた。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 日頃から「白球は正直だ」の言葉を使い、練習したら必ずと成果がついてくると伝えている。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 5つの誓いを教えて、感謝の気持ちをもって優勝を目指そうと伝えた。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後もこのような活動のサポートをお願いします。



軟式野球 久米南スポーツ少年団

スローガン 元気！！楽しむ！！リスペクト！！

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 昨年は1勝もできなかったが、今年は1勝を合言葉に頑張り、小さな大会だが準優勝できたこと。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 上級生が練習前の準備を積極的にしてくれて、更に自発的に進んで挨拶をするようになったこと。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 休憩の際は手洗いをして給水をする。ミーティングの際はマスクを確実にする。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 練習の時から大きな声でテンションを上げ、モチベーションを高ぶらせる工夫。試合後は子供たちだけで良かった点、悪かった点を話し合い、次に繋げている。監督も子供たちもソフトボールノートに質問、目標を書いている。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか 全ての人に敬意を払うこと、大切に思うことがスポーツマンシップの基本であると教えている。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後ともよろしく願いいたします。



軟式野球 賀陽 Jr. BBC

スローガン 明るく 楽しく そして勝つ

- ①昨年・今年度の活動において伝えたい事や嬉しい出来事 第17回中国ろうきん杯にて岡山県決勝大会出場。
- ②昨年・今年度の活動を通じて子供達が一番成長したこと 野球のできない時期があり、個々に工夫して練習したこと。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 3密を避け、練習内容を個別に行なったこと。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に取り組むために心掛けていること 子供たちの自主性を尊重することを心掛けている。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達にどのように教えて頂いているか ミーティングで伝えることに加えて、指導者が率先して行なう。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今回は本当にありがとうございました。



スローガン 友情・ほほえみ・フェアプレーの精神

- ①昨年・今年度の活動で伝えたい事や嬉しい出来事 県大会でベスト8に入れたこと。
- ②昨年・今年度の活動で子供達が一番成長したこと 大きな声での挨拶や、練習の準備と片付などを全員が率先して行えるようになったこと。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 手洗いの実施、検温記録の保管、機材のアルコール消毒など。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に 取り組むために心掛けていること 取組むために心掛けていること 負けた試合から学ぶことの大切さと、相手だけでなく自分の弱い心に勝つメンタルの重要性を考え、指導しています。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達に どのように教えて頂いているか 日々の指導の中で浸透させていく。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後ともスポーツを通じて青少年の育成を図っている団体のご支援をお願いします。



スローガン まず感謝、そしてあせらず、あわてず、あきらめず

- ①昨年・今年度の活動で伝えたい事や嬉しい出来事 コロナによる活動休止が終わり、団結力が増した。
- ②昨年・今年度の活動で子供達が一番成長したこと 挨拶ができるようになり、個々が役割を果たし協力するようになった。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 手洗い、消毒、換気、非接触型体温計の利用。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に 取り組むために心掛けていること 取組むために心掛けていること 挨拶を忘れず、基礎練習を多くすること。試合に向けて励まし、モチベーションを上げること。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達に どのように教えて頂いているか 試合前や保護者交流バスケの時など。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後、少子化で活動が低調になる少年団が多くなると思われていますが、今まで通りご支援をお願いします。



スローガン 挑戦しよう、目標を持とう、夢を持とう

- ①昨年・今年度の活動で伝えたい事や嬉しい出来事 団員が増員し、指導資格者が増えて充実した指導ができるようになった。一般参加、家族での参加が増えた。国体代表選手3名が育った。
- ②昨年・今年度の活動で子供達が一番成長したこと 中高生においては、身体能力、技ともに指導者を凌ぐようになったこと。
- ③コロナ対策として活動の際に工夫していること 常にマスク着用。体調チェックをしてから練習に参加させる。
- ④子供たちが前向きに練習や試合に 取り組むために心掛けていること 常に新しい課題(ルート)作りに励んでいる。セッション方式でみんなで登り方を考え、励まし合いながら取り組ませている。
- ⑤当財団の理念及び5つの誓いを子供達に どのように教えて頂いているか 掲示物や団のスローガンにして伝えたい。
- ⑥当財団に望むこと、期待すること 今後ともよろしくをお願いします。



メイト公徳体財団が目指す人づくり

理念

徳育・知育・体育の成長を図るため、スポーツ活動を通じて、世界に通用する豊かな人格の涵養と自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与し、誇りを持てる青少年を育成する指導者を養成する。

自立する青少年

助け合う・学び合う・鍛え合う

徳育

個性を尊重して、社会的規範、感動する心、思いやりや感謝の心など豊かな人間性を身につける。

知育

自らの可能性を信じ、知識・技術の練磨に努め、自分を高める努力を重ねる。

体育

スポーツを通じて、他者と協調し、心身の健全な育成につとめ、共に生きる。

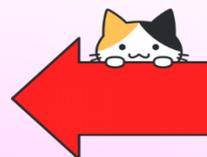
5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします。
2. 思いやりと感謝の心を持ちます。
3. 率先して、目標に向かって常に努力します。
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます。
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します。



■ 公益財団法人 メイト公徳体財団

住所 / 〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3
 TEL / 0869-88-0243 FAX / 0869-88-0248
 担当 / 後谷(うしろだに)・兼田
 ホームページ / <http://www.mate.or.jp/>



メイト公徳体財団へのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。